

夏休み期間中に、公共交通を利用できる無料乗車きっぷを配布し、公共交通の利用機会を提供する「親子でおでかけ事業」の取り組み

富山市 富山地方鉄道(株) 富山ライトレール(株) (株)まちづくりとやま (有)まちづくり公社呉羽 NPO法人水橋ふれあいコミュニティバス

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築～

「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」 イメージ

富山市のまちづくりの基本方針
～公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり～
＜概念図＞
富山市が目指す串とお団子の都市構造

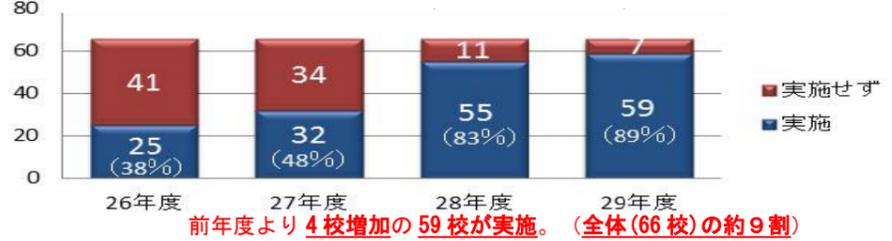
串：一定水準以上のサービス
レベルの公共交通
お団子：串で結ばれた徒歩圏



☆富山市交通環境学習 「富山市のりもの語り教育」

「富山市のりもの語り教育」とは、富山市における小学生を対象とした公共交通環境学習の名称です。富山市では、児童期という早い段階から公共交通(のりもの)の魅力を学ぶことで、児童に公共交通の必要性を理解してもらい、将来、環境や社会のことを考え、自発的に移動手段を選択できる意識を持ってもらうことを目指しています。

市内小学校66校における、のりもの語り教育実施状況



前年度より4校増加の59校が実施。(全体(66校)の約9割)

☆富山市のりもの語り教育の取り組み

☆社会科学習プログラム

年度	学習プログラムの企画・実施	学校教員への普及啓発
平成23年度 導入年	■検討 ■公開授業の実施 ■実施成果とりまとめ	■普及のための仕組みづくりの検討 ■教員の先遣地視察
平成24年度 ブラッシュアップ年	■検討 ■公開授業の実施 ■実施成果とりまとめ ■学習教材の作成	■普及のための仕組みづくりの検討 ■普及啓発活動の実施 ■教員の先遣地視察
平成25年度 確立年	■検討・確立 ■公開授業の実施 ■実施成果とりまとめ ■学習教材の完成	■普及のための仕組みづくりを検討・確立 ■普及啓発活動の実施 ■教員の先遣地視察
平成26年度 普及促進年	■公開授業の実施 ■事後検討会による修正点のまとめ ■学習教材の編入 ■校外活動への支援	■交通環境学習フォーラムの実施 ■校長会・小学校教育研究会でのPR
平成27年度 ブラッシュアップ年	■学習教材の修正 ■小研究発表会での公開授業 ■校外活動への支援	■のりもの語り教育推進者育成研究会の実施 ■校長会・小学校教育研究会でのPR
平成28年度 ブラッシュアップ年	■学習教材の修正 ■小研究発表会での公開授業 ■校外活動への支援	■のりもの語り教育推進者育成研究会の実施 ■校長会・小学校教育研究会でのPR
平成29年度 ブラッシュアップ年	■学習教材の修正 ■小研究発表会での公開授業 ■校外活動への支援	■のりもの語り教育推進者育成研究会の実施 ■校長会・小学校教育研究会でのPR
平成30年度 全校実施に向けた年	市内の全小学校での交通環境学習の実施を働きかけ	

社会科学習プログラムの詳細情報。科目、年次、タイトル、実施内容などが記載されています。

科目	年次	タイトル
社会科	3年生	「富山市のいろいろな乗り物」「富山市の様子」(ここからスタート!!)
社会科	4年生	「富山県の交通の様子」
社会科	5年生	「富山の新しいまちづくり～まちを元気にするライトレール～」
総合的な学習の時間	3・4年生	「『おでかけ定期券』って何だろう?」
総合的な学習の時間	5・6年生	「環境にやさしい交通機関の使い方を考えよう!」



○小学校の校外学習(市内電車)



○北陸新幹線の見学



○市職員による小学校での公開授業の様子



○小学校の校外学習(コミュニティバス)

☆「親子でおでかけ事業」による公共交通の利用機会の提供

(1) 「親子でおでかけ」事業の概要

市内の小学校、特別支援学校の児童を対象に、公共交通機関の利用を促進する無料乗車券付きのチラシを配布し、公共交通機関を利用する機会を提供することによって、児童期から公共交通の魅力を学び、将来、自動車だけでなく公共交通機関も選択する意識を醸成し、公共交通の利用促進を図るもの。

実施期間：平成30年7月25日
～平成30年8月31日

「親子でおでかけ」無料乗車きっぷ

「親子でおでかけ」無料乗車きっぷの配布対象と利用方法に関する詳細情報。対象年齢、配布枚数、利用条件などが記載されています。

(2) 対象児童数

対象年度	対象自治体	配布児童数	利用枚数
平成28年度	富山市	21,685名	1,206枚
平成29年度	富山市	21,685名	5,206枚
平成30年度	富山市、黒部市、魚津市、滑川市、上市町、舟橋村	約30,000名	10,000枚(目標)

本年度は、対象範囲を富山市、黒部市、魚津市、滑川市、上市町、舟橋村に拡大し、実施中です。

(3) 関係団体

- 富山市
- 黒部市
- 魚津市
- 滑川市
- 上市町
- 舟橋村
- あいの風とやま鉄道(株)
- 富山地方鉄道(株)
- 富山ライトレール(株)
- (株)まちづくりとやま
- (有)まちづくり公社呉羽
- NPO法人水橋ふれあいコミュニティバス

「おでかけきっぷ」が利用できる公共交通機関のリスト。富山地方鉄道、あいの風とやま鉄道、富山ライトレール、まちづくりとやま、コミュニティバス、路線バスなどが掲載されています。

(4) 「おでかけのしおり」の提供や、クイズラリーの実施

昨年度は、富山市内の「のりものマップ」や「外出の計画」、「予定表」、「児童の感想」、「保護者の感想」など、計画的な外出を支援する「おでかけのしおり」の提供や、市内6箇所で開催されたクイズラリーの実施することで、異なる公共交通モードの乗継を促し、それぞれの公共交通の違いを体験する機会を創出した。

「おでかけのしおり」のデザインとクイズラリーの質問内容。しおりには「富山市のいろいろなのりもの」に関する情報が掲載されています。

(5) 利用できる交通機関

- あいの風とやま鉄道(呉羽駅～生地駅間)
- 富山地方鉄道(本線、不二越・上滝線、立山線、軌道線、路線バス、市内周遊ぐるっとバス)
- 富山ライトレール(全線、フィーダーバス)
- まちづくりとやま(まいどはやバス)
- 参加自治体内コミュニティバス(全線)

☆特徴的な取り組みと実績

この事業の運賃減収分については、市からの補填を行わず交通事業者の負担において実施している。

このことについては、各交通事業者において「無料乗車きっぷ」を利用する際に同乗する保護者等の新たな有賃利用に伴う収入の増加という効果面だけでなく、多くの児童に対して手軽に公共交通を体験する機会を提供することによって、公共交通を身近に感じてもらう、将来、自動車だけでなく公共交通機関も選択する意識を醸成する「種まき事業」という理解のもと実現したものであり、その取り組みは、平成30年度において対象エリアの拡大や協力交通事業者の増加という面での広がりを見せている。

なお、平成29年度の推計値では、3,391名の保護者等の有賃利用により、約842千円の増収効果があったものと評価している。